

令和7年度 第2回「くまもとで働こう」推進本部 議事概要

日時：令和7年（2025年）10月6日（月）9時30分～10時30分

場所：知事応接室

1 開会

【進行：商工政策課 中嶋審議員】

ただ今から、令和7年度第2回「くまもとで働こう」推進本部を開催させていただきます。開会にあたりまして、推進本部の本部長である木村知事からご挨拶を申し上げます。

2 挨拶

【木村知事】

皆さん、おはようございます。今年度第2回「くまもとで働こう」推進本部を開催させていただきます。

本日は、金谷熊本労働局長にもお越しいただきましてありがとうございます。日頃より熊本県の雇用環境の改善と充実にご尽力いただきまして感謝申し上げる次第でございます。

この推進本部は昨年8月の立ち上げ以降、「県内定着」、「人材育成」、「生産性の向上」、そして「働きやすい職場環境づくり」という4つのテーマを柱に取り組んできたところでございます。前回の会議では、テーマごとの各部の今年度の取組みを共有しましたし、事例の紹介を私からもさせていただきました。今回は今年度の進捗状況と、次年度に向けた施策の方向性を報告していただき、部局を跨いで共有し、よりよい来年度の施策につなげていこう、または今年度の施策のチューニングをしていこうと思います。

今日は金谷熊本労働局長にお越しいただきましたので、県内の雇用情勢、また労働局様の取組みをご紹介いただくとともに、県と国は連携していろんな施策を展開していくべきだと思いますので、各部におかれましては労働局からお話いただきました内容も踏まえて、施策の立案に生かしていただくようお願いしたいと思います。それでは、今日はよろしくお願いいたします。

3 報告

【佐藤商工政策課長】

- ・熊本県の人口動向について、資料に基づき報告

【各部長、教育長】

- ・令和7年度の主な取組みの進捗状況、次年度の取組み・施策の方向性について、資料に基づき報告

4 熊本労働局の取組み等について

【金谷熊本労働局長様】

・熊本労働局の取組み等について、資料に基づき説明

5 意見交換

【商工政策課 中嶋審議員】

次第5「意見交換」でございます。これまでの各部や教育長のご報告、熊本労働局様のご説明を受けまして、ご意見などございましたらお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。知事公室長お願いいたします。

【深川知事公室長】

それでは16ページをお願いします。労働局長様ありがとうございました。非常に有効求人倍率、歴年が見えまして、興味深いなと思います。その有効求人倍率に関わる質問ですけれども、最初の数字では熊本市よりも阿蘇・水俣が高いというような数字になっている。左の表を見ますと確かに飲食業の調理ですとか求人とかが全体的に高めですので、阿蘇は旅館なのかなと思いながら見ていたのですが、そういった阿蘇・水俣が高い背景を少し教えていただければと思います。

【金谷熊本労働局長】

水俣については正直なところやはり人口が苦しいということに尽きると思いますが、阿蘇につきましてはやや、おっしゃる通り観光業で大分稼いでいることもあり、求人が出ているというところもあります。その一方で働く人の方を見ますと、どうも阿蘇ではなく菊池の半導体企業で就職したいという方がかなりいるらしく、かなり人集めには苦労しているというのがこの数字に表れているようでございます。そのようにご理解いただければと思います。

【深川知事公室長】

そういう影響が出ているのですね。大変参考になりました。ありがとうございました。

【商工政策課 中嶋審議員】

他にございますか。健康福祉部長、お願いいたします。

【下山健康福祉部長】

金谷労働局長、いろいろ詳しい説明をいただきましてありがとうございます。

平素から特に全体の中でも医療・介護・保育等の6分野の人材確保に取り組んでいただきまして本当にありがとうございます。人材確保対策コーナーを設置していただいて、専任のスタッフも付けていただいたということで、今後、我々も勉強させていただければと思います。

県も看護に関しましては「看護協会ナースセンター」を設置しております。福祉に関しては、社会福祉協議会に「福祉人材・研修センター」を設置しております。そちらにおいてももうすでにハローワークの方と連携した取組みを行っておりまして、最近では、「福祉の就職総合フェア」において労働局のブースを設けていただき、職員も座っていただいて、我々と一緒に取り組んでいただいておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

それから25ページの両立支援でございます。がん対策として熊本大学病院に「がん相談支援センター」を委託しております。まさに、ドクターの理解や、職場の理解、ご本人に働く意思があってもそれを職場が許すかという話と、病気への理解ができていくかということ、それに医療スタッフがきちんと入って、キャリアを中断することなく治療が続けられる体制が必要です。これは労働局様から声をかけていただいて、我々も両立支援推進に関する会議に入らせていただいております。これからも治療しながら働く方が増えていくと思いますので、一緒に頑張らせていただきたいと思います。今回はありがとうございます。

【金谷熊本労働局長】

引き続きよろしくお願いいたします。

【商工政策課 中嶋審議員】

他にございますか。企画振興部長、よろしくお願いいたします。

【富永企画振興部長】

今、ご紹介いただいた「人材確保対策コーナー」、この重点分野の運輸分野に僕は入っております。厳しい「公共交通」という分野の環境、この中でも特に運転手不足というのが課題になっており、バスや鉄道の減便が課題になっている。その負のスパイラルから脱却するために運転士不足対策が非常に重要ということで、一緒に連携して取り組んでいただきたいと思います。

そして、この対策コーナーの中で、業界の魅力発信というのにも取り組んでいただいているところであります。特にバス・鉄道の運転手といえば子どもも大好きな職業でありますので、そういった気持ちを運転手という熊本の地域を支える場、運転手というブランディングにも取り組んで人材確保に繋がりたいと考えております。

あと少し気になった部分、22ページに「賃金引き上げ支援施策パッケージ」というのがございまして、この中には運輸業は入っていないと思うんですけども、やはり運転手不足にとってブランディングといったものに加えて、賃金も含めた待遇面の改善が大事でありまして、バス事業者だと朝のラッシュ時とか夕方のラッシュ時に運行する必要もあり、なかなか働く労働環境というの難しいところがあるので、県内では平日限定の運転手というようなカテゴリを設けるなど、勤務形態を工夫して女性を含む多様な人材確保にも努めているところですけ

ども、こういった賃金引き上げ支援とか、或いは働くいろんな勤務形態の導入とか、そういったものの支援というのはどういう形であるかというのをもう少しお伺いできればと思います。

【金谷熊本労働局長】

私は全部が全部詳しいわけではないのですが、おっしゃるように運転手さんってわりにこう、シフトが1回決まってしまうと、お休みそのものは取りやすいですとか、魅力のある使い方というのがあるかと思っております。加えてバスとか大型の場合ですと、我々の方としても資格を取得するのにも、国の方から支援をしたいということもあって、そうしたものを加えて魅力を発信していくのかなと。また、いろいろと県の方でもやっていたいているということですので、詳しいコンテンツなどについては、もし何かいいものがあつたらいただければ我々の方でも発信させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

【商工政策課 中嶋審議員】

他にございますか。土木部長、お願いいたします。

【菰田土木部長】

先ほどありました人材確保対策の強化ということで、建設分野も含まれておりまして本当ありがたい限りだと思っております。我々も建設産業の魅力発信等については強化し、一生懸命取り組んでおりますけども、先ほどお話がありましたように横展開というようなところもあるかと思えます。我々も建設産業に特化した形での講習会などを行っているところではありますが、いろんな就職フェア等でも一緒になってPRできればと思いますので、そういった面での情報提供等々あればよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

【商工政策課 中嶋審議員】

他にございますか。商工労働部長、お願いいたします。

【上田商工労働部長】

6ページの企画振興部のところで、7年度の実施計画の中で、「ようこそ熊本！プロモーション事業」で、麻生専門学校ですとか、西南学院大学と一緒に連携をした取り組みをご報告いただきました。当部では、UIJターン就職支援協定を締結している大学等が20校ありまして、関東、関西、福岡、各地域にございます。そういうこともあって、今回は橋渡しできたかなというふうに考えております。その他医療、福祉、建設、介護など様々な人材不足の分野で、福岡ターゲットとか関西ターゲットとか、そういったところがあれば、気楽にご相談いただければいろんな学校との橋渡しはいつでもできますので。当部も他人事ではなくて、当部のこととして一緒に取り組みをさせていただきますので、ご相談いただければと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

【商工政策課 中嶋審議員】

ありがとうございました。

次に本日お越しいただいています金谷労働局長様から、本日の会議を受けましてご意見やご感想など頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

【金谷熊本労働局長】

本日は貴重なお時間いただきましてありがとうございました。私も今日は県の皆さんの取り組み状況について聞かせていただきまして大変勉強になりました。おっしゃるように、マッチングですとか或いは人材育成、さらに魅力発信といったものにつきましては、国、県で協力し合うとより効率がいいと思いますし、また効果も大きくなっていくものだと思っています。いろいろとまたご相談させていただきたいと思いますけれども、是非とも協力させていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【商工政策課 中嶋審議員】

それでは、最後に知事、両副知事からご意見をいただきたいと思います。まず、亀崎副知事からお願いいたします。

【亀崎副知事】

今日はまたさらに幅広い観点からのお話ありがとうございました。

冒頭人口動向の話が出ました。25年後は2050年になりますが、やはりこういう将来を見据えてデータをしっかりと分析しながら課題設定を行うことが大事だろうと思いました。その上で4つの視点、県内定着等といった取り組みを進めることが重要だと思っています。

また、これを進めるに当たり、冒頭知事のご挨拶の中にもありましたように、本日、金谷熊本労働局長様のお話の中にもあったように、国の制度や支援策をしっかり我々も理解した上で連携して進めていくことが必要ですし、市町村や企業、教育機関ともそれぞれの皆さんの強みを生かしながら進めていくことが大事だろうと思います。

また、各部のお話の中では特に半導体関連をはじめとする成長分野の人材育成、或いは高齢者、女性への就業支援など幅広いところで進んでいるということが確認できました。そういう中で1つ私も感じたのですが、県内全体としての方向性を取り組み進めていく中で、金谷局長のお話もありましたように、地域別の課題ですね。マッチングの課題の対応も、きめ細かな対応が必要だろうと感じたところで、今日ありました水俣は人口が苦しいという話。菊池は、求人数が多すぎて追いつかないと。実は天草でもそういう話を聞きまして、工業高校にアプローチするけど、みんな熊本に就職で出て行ってしまふ。そのために、今クラスの定員数に満たないので、そこに入る生徒をアプローチしようと思って小学校・中学

校に働きかけていこうと思うという話でした。それもありなのかと思いました。片や首長さんたちの話を聞くとやはり出生数の話が将来的にはまたそこに効いてくるだろうという。非常にそこはうまく考えていかないと難しいだろうなといったところでございます。こういった課題を皆さんに共有していただきながら横断的に来年度に向けて連携して取組みを進めていただければと思っています。

【商工政策課 中嶋審議員】

次に、竹内副知事からお願いいたします。

【竹内副知事】

まず金谷労働局長様、今日はありがとうございました。これまで私ども木村知事のリーダーシップのもとで県内各部局が連携して、取組みを進めてきたところですが、ここに労働局が加わっていただいたということは、とても心強く思っております。先ほどの局長のご説明の中でもうまくいった事例については横展開していただけるというお話もいただいております。商工労働部の方が窓口となってまたその横連携、庁内各部そして国との連携というのを強化していってもらえればと思っています。それから本日、各部局から説明してもらった資料に今年度拡充した取組みとか、新規の取組みが多く見られます。これらについて各部局長においてはしっかりと進捗状況を把握していただいて、来年度こういうことをやるということで、今回の資料にも書いてもらいましたが、効果がより一層、また早期に発現するよう、マネジメントをしっかりとお願いしたいと思います。まさに先ほど亀崎副知事からありましたように、人口減少の中でさらに厳しい状況になっていくところをどう乗り切っていくかということになりますので、また引き続き一緒に頑張っていきたいと思っています。

【商工政策課 中嶋審議員】

最後に、木村知事からお願いいたします。

【木村知事】

各部局長の皆さんありがとうございました。また、両副知事からの的確なコメントをいただきました。なるほどと思ったところでございます。まずもって金谷労働局長、本当ありがとうございました。非常に密度の濃い議論ができたと思っております。

今回の説明を踏まえて3点、私からお伝えしたいことがあります。

1点目は、人材不足が顕著な分野の人材育成確保。これをやはり来年度に向けて、もちろん中期的長期的も含めてですが、各部局もちろん皆さん真剣にしていただいておりますが、是が非でも頑張っていきたい、施策の練り込みをお願いしたい。福祉・農業・建設はじめ各分野においてやはり現場ニーズを踏まえながら組み立てていただきたいと思っています。労働局からも医療介護など6分野

の人材確保策の強化などを詳しく説明をいただきましたし、国も人手不足が顕著な12分野対象に省力化プランを公表していますので、エッセンシャルワーカーなどの県民生活を支える貴重な人材確保に重点的に取り組んでいただきたいと思います。

2点目は、子どもたちのキャリア教育についてです。先日、実は土曜日に県大の黒田理事長とも会って懇談したのですが、やはり熊本県も少子化、出生者の減少が続く中で、子どもたちには本当に働くことへの興味関心を高めるだけではなくて、やはりその夢を感じながら自分の進路を考えていく。特に今、黒田理事長がおっしゃっていたのは女子ですね。どうしてもこの九州にあるアンコンシャスバイアスを飛び越えて、やはりいろんな夢を感じられるような、そういう中で特に半導体を中心にした新たなこの分野というのは、リケジョという括りではなくて、女性にも非常に働きやすい、キャリアアップがしやすい職場だという話をされていました。

知事部局と教育委員会が連携することはもとより、半導体のグリーンイノベーション協議会もそうですが、地域や他の機関も含めた、産学金官一体でキャリア教育を進めるように、知事部局、教育委員会、一緒にそれぞれ知恵と工夫を進めて欲しいと思っています。

3点目は、本日金谷局長にお越しいただきましたように、労働局との更なる連携でございますので、特に今回賃上げや業務改善に係る政策の方にまでお話をいただきました。やはり私はこれまでの勤務環境などの、企業の好事例について部局、分野業界を問わずに展開して欲しいと申し上げましたので、国の制度活用、企業への周知、個別の企業支援などについても、可能な限り労働局と連携して進めていただければと思っています。

各部の施策に横串を刺して、創意工夫を結集して、県民の皆さんが熊本県で働こうと心から思える環境づくり、全庁一丸となってこれからも推進していきましょう。私からは以上でございます。

【商工政策課 中嶋審議員】

ありがとうございました。

それではこれもちまして、令和7年度第2回「くまもとで働こう」推進本部会議を終了いたします。全庁一丸となって取り組んで参ります。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。